

■二輪車販売の実務と情報

ヤマハニュース 10

YAMAHA NEWS NO.112'72 OCT.



'73
ヤマハスノーモビル

新発売!

●ニューカラー

HT90

AT125

10

月のスポーツレジャーハイライト

スケジュールは、天候その他の事由により変更されることがあります。事前に連絡先にお問合わせください。

いよいよ秋もたけなわ

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋と、秋はなんにつけても最高の季節。そして日本の自然がもつとも美しいとき――

あくまでも高く晴れ上がった秋空のもと、心ゆくまでツーリングを楽しむ絶好のシーズン。

また、さわやかな空気につつまれたトレールランドには若者の歓声がこだまして、全国11ブロックのトレール杯争奪モトクロス選手権シリーズは、各ブロックともいよいよ終盤、若いブロックチャンピオンが各地にぞくぞくと誕生しています。

いっぽうロードレース好きの若者には、日本グランプリロードレースが、そして注目の東京モーターショーも月末からはなやかにオープンします。

お客さまとともに一段と忙しさをます十月、積極的なご商売におはげみください――

	▶競技会	▶会場	▶主催	▶連絡先
8日	TCMS北陸第7戦	トレールランド金沢	ヤマハ北陸	(0762)63-0256
9月	TCMS大阪奈良第4戦 兼京滋第5戦	トレールランド八日市	ヤマハ大洋	(075)312-0714
10日	TCMS広島第5戦	トレールランド広島	ヤマハ発動機広島店	(0822)82-4111
11日	TCMS全道大会	ティネオリンピア	北海道ヤマハ	(011)641-2711
12日	TCMS岐阜第7戦	数河高原	高山FA会	(0577)32-5026
13日	TCMS和歌山第5戦	トレールランド和歌山	ヤマハ和歌山	(0734)71-2811
14日	全日本選手権第6戦 日本グランプリロードレース大会	鈴鹿サーキット	MFJ	(03)561-8566
15日	TCMS関東ブロック大会	未定	TCMS東京事務局	(03)572-2021
16日	TCMS岡山第5戦	トレールランド岡山	ヤマハ岡山	(0862)41-1803
17日	TCMS浜松第5戦	伊佐地特設コース	ヤマハ浜松	(0534)54-8411
22日	TCMS北陸第8戦	トレールランド金沢	ヤマハ北陸	(0762)63-0256
11月	TCMS東北最終戦	仙台テクニカルハイランド	ヤマハ発動機仙台支店	(0222)94-6121
5日	TCMS大阪奈良第5戦	トレールランド八日市	ヤマハ発動機大阪西営業所	(06)538-7331
12日	TCMS福山第5戦	トレールランド府中	ヤマハ発動機福山営業所	(0849)22-5445
12日	TCMS九州チャンピオン決定戦	星野トレールランド	ヤマハ発動機九州支店	(092)41-3606

1日
2日
3日
4日
5日
6日
7日

8日

9日

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

31日

11月

5日

12日

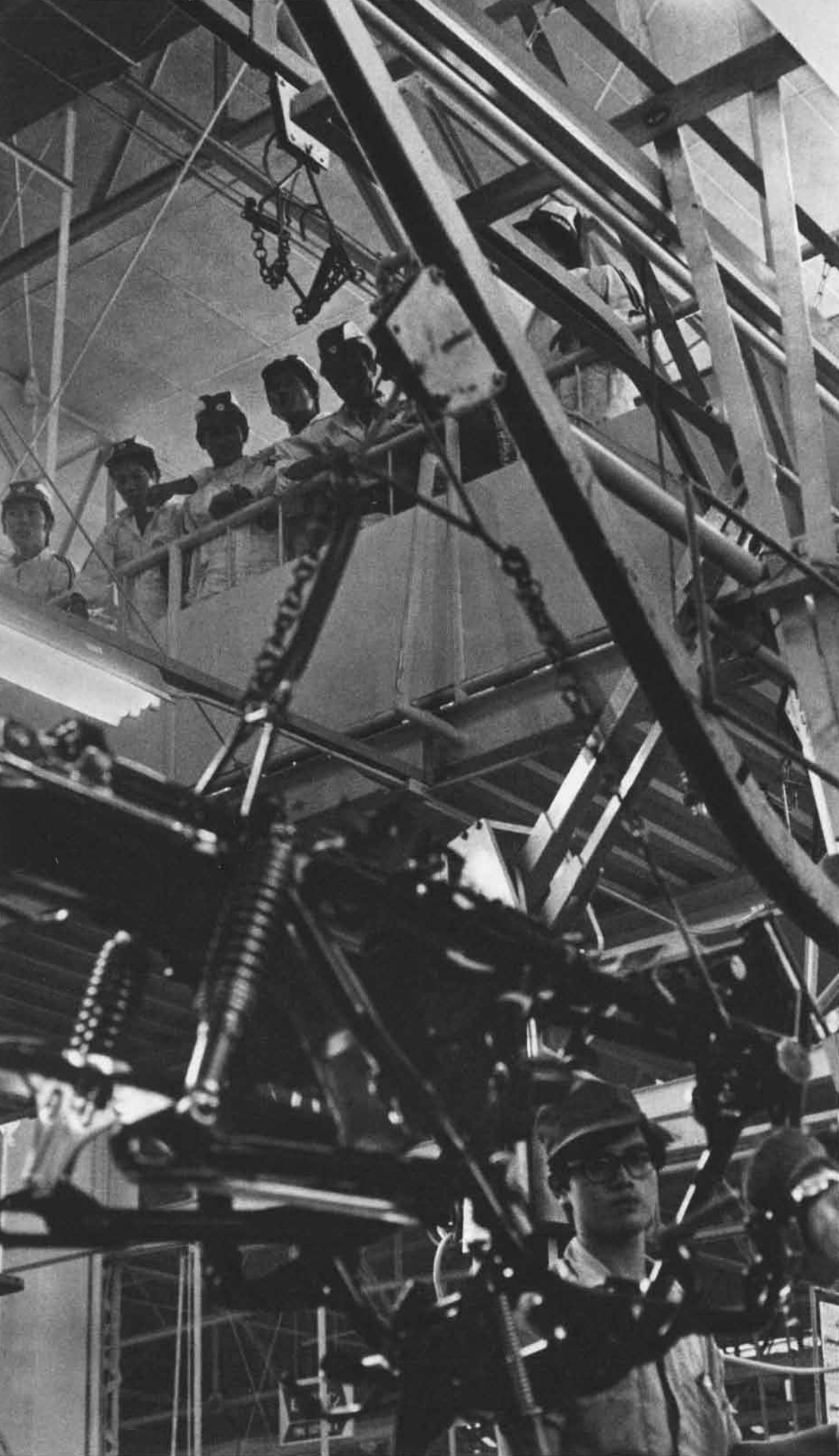
11月

12月 3日 4日 5日 6日 7日 8日 9日 10日 11日 12日 13日 14日 15日 16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日

文化の日

勤労感謝の日





◆ お客さま相次ぐ

大きい
ヤマハ
ハ
たくましい
YAMAHA

本社工場見学

ヤマハ発動機株式会社の本社が磐田市に移転して早くも半年余を経過、旧磐田工場の本社工場も拡充につぐ拡充をつづけ、その生産能力は二輪車八十五万台年産と大きく飛躍しております。そしてこの素晴らしい躍進ぶりを目のあたりにみようと、国内外から多数のお客さまが訪れています。きょうは奈良県吉野郡川上村・中川モーターズのお客さま「ルート169ヤマハ会」の有志が愛車を駆つてその生れ故郷を訪れました。

「ルート169ヤマハ会」とは、中川モーターズさんを中心に、そのお客さまによってつくられた交通安全クラブで、その活躍ぶりがかつて本誌でも紹介していますが、今回ヤマハ本社工場を訪問したメンバーはクラブの有志7名で、前日の早朝に奈良を出発、津、松阪を経て、鳥羽からフェリーで伊良湖に渡り、浜名湖、館山寺をまわって浜松に泊り、その翌日の朝、それぞれの愛車の故郷を訪ねたというわけです。

この行程においても、「ルート169ヤマハ会」のモットーである交通安全の普及運動を展開、それぞれに、「単車に乗るときはヘルメットをかぶろう」、「飲酒運転はやめよう」などの標語を記したたすきをかけ、整然とし



工場内は予想していたより、はるかに大きく活動的—とお客さまの言葉。これは組立て部門の一部です



話題のナナハンを囲んで、あれこれオートバイ問答。左端は中川モーターズのご主人、中川秀雄さん。ルート169ヤマハ会の会長でもある



本社工場を背に、そろいのツナギ服で本社工場へ向うルート169ヤマハ会のみなさん



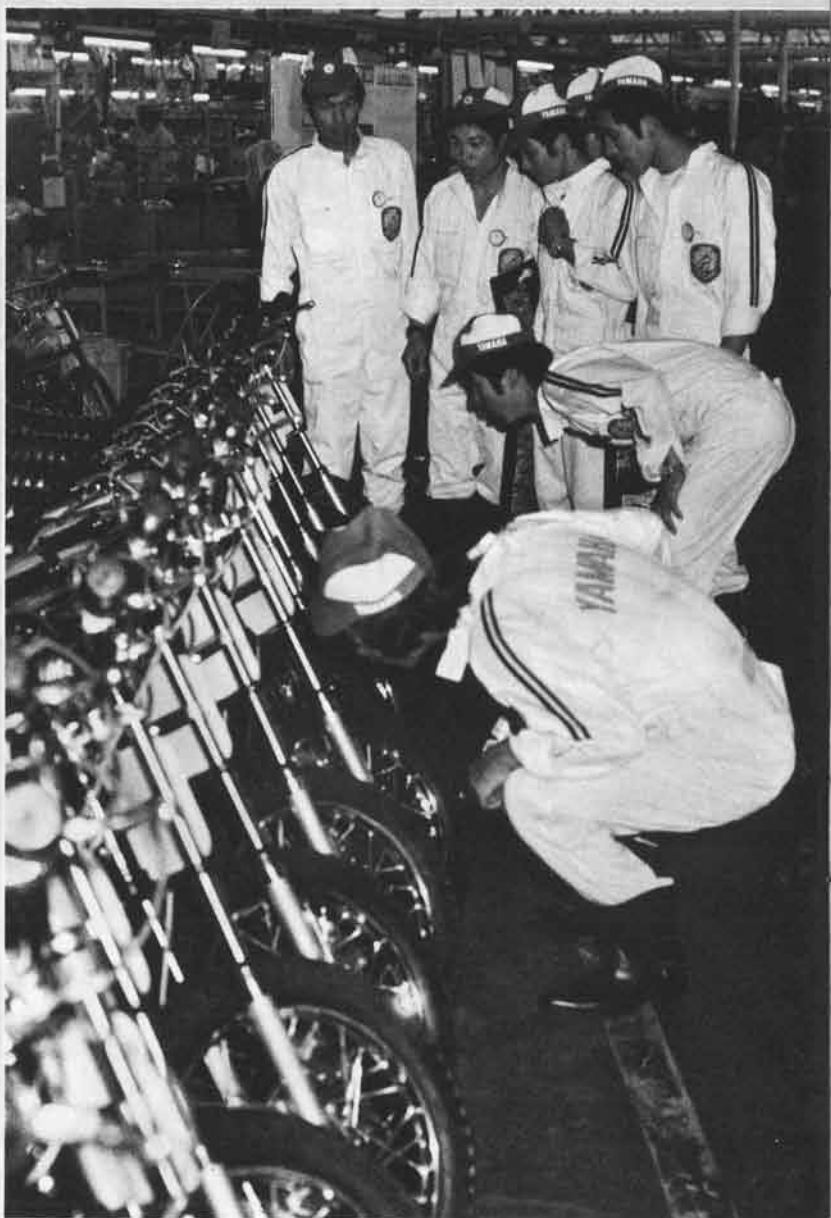
交通安全のたすきをかけ、
ヤマハ本社工場へと向う一行

たパレードで注目をあつめました。
今回の工場見学は、自分たちのよき足とな
っているヤマハがいかんにして生まれてくるか、
その実際をこの目でたしかめようというわけ
で、限られた時間内では充分に見きれなかつ
た感もありますが、工場規模の大きさ、活発
さ、整然さが話題となり、ヤマハに対する信
頼度をますますつよめたものでした。



完検、すなわち完成車検査。組立てを終わった製品
は一車一車すべてエンジンがかけられ検査される

「ホッ、TD がありますネ」今年もはやばやと世界 GP の
チャンピオン・タイトルを獲得した TD にまたがって…



こちらはズラリそろった新車の群



▲「こちらはパーツセンター。高層ラック式として日本一の規模をもつものです……」

左右に林立している部品の棚、棚、棚。この棚の林を▶リフトがとおり、必要部品の出し入れが行なわれる





▲仕向け地は国内外にわたり、それぞれに梱包され、出荷されていく

▼雪のシーズンの立役者、出荷をまつスノーモビル。ヤマハにはこのほかポートやヨット、船外機、汎用エンジンなど、その製品は多彩だ



▶本社工場の玄関口で記念撮影。手にしている表彰額は、ルイトー69ヤマハ会の交通安全運動に對する奈良県知事および地元吉野警察署からの表彰状



▲高品質、高性能ヤマハの誕生を目のあたりに見て、ルイトー69ヤマハ会のメンバーは、そのクラブのモットーである交通安全の普及を誓いあったものだ

3人+荷物をのせて スイスイでございま〜す……………

サイドカー付XSを楽しむ小林義明さん(埼玉)



それぞれに、いろいろなオートバイの楽し
しみ方がありますが、ここに紹介するのは大
のサイドカー・ファンの小林義明さん(22)

埼玉県児玉郡児玉町IIです。

小林さんは、お菓子をつくる仕事にたずさ

わるかたわら年に一度は二〇〇〇kmのサイド
カー・ツアーを敢行しており、こんどのXS
サイドカーは二代目。これは小林さんが語る
サイドカー礼賛です。お店のお客さまとの話
題にどうぞ――。



③ かくのごとまっすぐにも走れる。これは小林さんの練習風景だが、本来サイドカーは手放してもまっすぐ走るのが正常で、カーブではカーの方向へより、カーと反対側のカーブのほうがずっときりやすい。



① サイドカーの運転は、いかにカーとのバランスをとるかということ。倒れないからといって急激にカーのほうにハンドルをきると、曲がりきれずに、カーがかくのごともちあがって危険。転倒さえ招くが……



② そのときハンドルを修正してバランスさせれば、カーを持ちあげたままで……

そう、わたしがサイドカーにあこがれをもったのは、日本ではそうざらにお目にかかれないことと、いかにもダイナミックな感じがピンときたからです。

16のときに免許をとって、小さな車に乗っていたんですが、やはり小さな車ではあきたらず、そんなとき、D T I をひと目みて、乗るならこれだノと直感、さっそく購入したものでした。このD T I には一年ほど乗ったのですが、ユメはやはりサイドカーにあり、ソロで乗っている間にコツコツと貯金し、あこがれのD T I サイドカーを持ったのです。

とはいっても、そう簡単にサイドカーが出来たわけではないんです。

まず、サイドカーをつくるどころが分からない。また費用がどのくらいかかるかも分からない。そこで、連乗りや、街角などでサイドカー付を見つけると、持ち主を捜してはサイドカー・メーカーや費用、製作日数を聞いてまわったものです。

サイドカーというと、特別な運転テクニックがいるのと、車中などの問題で、製作費用を別にしてもたいていの人が興味を示すだけで、実際には敬遠してしまうものですが、わたしにいわせると、それは嫌わず嫌いというものです。



夢にまで見たDTIサイドカー。これは最初のロングツアー北海道での記念スナップ



サイドカーならではの大量荷物。九州一人旅でのスナップ



小林さんの太田製サイドカーは、ジョイントを固定式としたレーシングタイプ。カーの取付けはトーイン（カー車輪が進行方向にむけて内側に向いている角度）、リード（カー車輪と後輪との取付位置の前後方向の相違距離）、キャンバー（カー車輪が垂直より外側に傾斜している角度）など、基本設計にいろいろなむずかしさがある。

同じ二人乗りでも、ソロとサイドカーとは、乗る楽しさはまったく別のものです。ソロでは、うしろの人は荷物にすぎません（失礼）が、サイドカーの場合は、カーに乗る人——パツセンジャーといいますが——も、運転に加担しているんです。だから、同じパツセンジャーでも、乗りなれた人とそうでない人とは、運転にえらい差が出てくるくらいで、それだけにパツセンジャーの楽しさは格別なものがあるわけです。

わたしには、同じ職場で一緒に働く大のオートバイ・ファンの荒井美和くんがパツセンジャーをつとめてくれますが、DTI以来のつき合いで、彼と一緒にいるときは本当に安心して、楽しく走れます……というのは彼も運転を楽しんでいるわけなんです。

右、左のカーブ、ストレート、砂利道、ドライバリーの運転をサポートするパツセンジャーとの息の合った心のつながり、それはサイドカーならではのものです、実際に経験してみなければ分からないものです。

ところで、サイドカーにするにも、そうホイホイできるものではないことは想像していただけだと思いますが、とにかくサイドカー本体でもう一台XSが買えるくらいなのですからたいへんです。

しかし、そのお金にかわる大きな楽しみがある、とわたしは思います。



サイドカー万才！ 小林さんとXS サイドカー



年に一度のロングツアーも、もう3年つづいている。その証拠がこれ。行く先々でのワッペンがいっぱいだ



お母さんを横に、ちょっと町まで一走り。これもサイドカーの効用の一つ

これからは、遠乗りも年々盛んになるでしょうし、オートバイの楽しみ方もいろいろなものが開発されるのではないかと思います。とくに、最近はおートキャンプを兼ねて何泊かのビッグ・ツアーが盛んで、今年の夏は各地でこうした仲間と出合いましたが、こうしたビッグツアーにはサイドカーは最適です。サイドカーであれば、オートキャンプに必要な世帯道具をいっさい積みこんで気軽な旅を安全に走れます。

サイドカーをつけて三年、北海道から九州まで、楽しいツアーをつづけられるのもサイドカーならではと思っています。

DTIもよく走りましたが、このXSも抜群です。販売店さんもサイドカーについて勉強してもらい、おおいにサイドカー・ファンを増やしてもらいたいものです。

(註・サイドカーはかつてミナト式、いずみ式など、数種のものが出まわったことがあります。軽三の登場、軽四の普及につれていつとはなく姿を消し、現在ではサイドカー専門メーカーというところはないようです。しかし、最近に至って、サイドカーに対する人気が出てきたようで、二輪専門誌「ビッグバイク(BIG BIKE)」72年9月号ではサイドカー特集が掲載されています。なお、小林さんのサイドカーは、日本では屈指のサイドカー・オーナーであり、製作者といわれる大陸モーターズ・太田政良氏製(東京都港区三田5-11-7)です)

●この冬のご商売の拡大に

レンタル、けん引モデルも新登場 いよいよ充実したヤマハスノーモデル

雪のシーズンに先がけ'73年型ヤマハスノーモデルの登場です。

これまでの業務用モデル、スポーツ用モデルに、今シーズンからはレンタルモデル、さらにけん引用モデルも加わって、全8機種。一段と充実したラインアップです。

過去四シーズンにわたる実績と、内外のレースで実証済みの第一級の性能をあますところなく盛り込んだ'73ヤマハスノーモデル。ことしもまた、スノーシーズンを大きくリードし、大きなご商売をもたらす商品です。

ヤマハが日本の冬を変えて四シーズン、いまでは約四千台以上のスノーモデルが国内に普及しています。

若者を中心とした新しいスノースポーツレジャー用途十五パーセント、レンタル用途三十二パーセント、商店や官公庁などの業務用途が五十三パーセントというのが四千台のうちわけですが、今シーズン以降の傾向として、スポーツレジャー需要の大巾な増大が見込まれています。

こうした需要動向に合わせて'73ヤマハスノーモデルは、スポーツモデル、業務モデル、レンタルモデル、けん引モデルなどフル・ライン計8機種が勢揃いしています。もちろん装備、機構面とも過去四シーズンの実績を生かして大巾にグレードアップしたものとなっています。代表的モデル・S350DXをはじめ、その充実した内容の一端をここにご紹介しましょう。

年次伸長率三十五パーセントという大きな伸びを示しているスノーモデル、冬場のご商売拡大にぜひどうぞ――。



▲スタイルを一新、性能はもとより大巾な安全性と走行安定性の向上がはかられた'73ヤマハスノーモデルのエース・S350DX。



▲車巾も広くし操縦性、旋回性を向上。大型2ヘッドライト、前後独立ウィンカーと安全性も大きくアップしてビジネスにレジャーにピッタリ。

'73ヤマハスノーモビル主要諸元表

S300B



全長.....2,625mm
 全巾.....780mm
 全高.....1,030mm
 重量.....155 kg
 燃料消費率.....6.5km/l
 最小回転半径.....4,500mm
 登坂能力.....20°
 エンジン型式.....2サイクル5ポート
 冷却方式.....強制空冷
 シリンダー数・配列.....単気筒

総排気量.....292cc
 最高出力.....18ps/6,000rpm
 始動方式.....リコイル式ハンドスターター
 ※セルスターター取付可能
 燃料タンク容量.....13.5ℓ
 変速機型式.....Vベルト式自動変速機
 ブレーキ方式.....ディスクブレーキ
 トラック巾・数.....380mm—Single
 前照灯、尾灯、ストップランプ、方向指示器(前)つき。

S300DX



全長.....2,665mm
 全巾.....790mm
 全高.....1,030mm
 重量.....160 kg
 燃料消費率.....6.5km/l
 最小回転半径.....4,500mm
 登坂能力.....20°
 エンジン型式.....2サイクル5ポート
 冷却方式.....強制空冷
 シリンダー数・配列.....単気筒

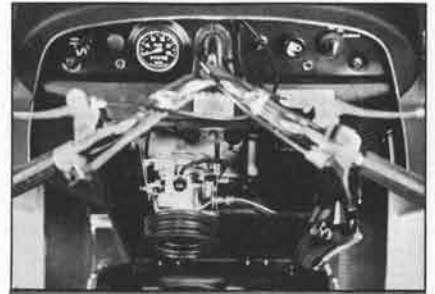
総排気量.....292cc
 最高出力.....20ps/5,500rpm
 始動方式.....リコイル式ハンドスターター
 ※セルスターター取付可能
 燃料タンク容量.....18.0ℓ
 変速機型式.....Vベルト式自動変速機
 ブレーキ方式.....ディスクブレーキ、ドラムブレーキ
 トラック巾・数.....380mm—Single
 前照灯、尾灯、ストップランプ、方向指示器(前後)つき。

S350C

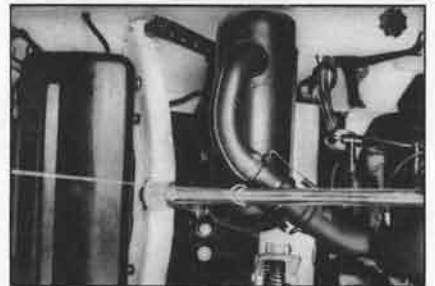


全長.....2,610mm
 全巾.....790mm
 全高.....1,120mm
 重量.....185 kg
 燃料消費率.....5.0km/l
 最小回転半径.....4,500mm
 登坂能力.....20°
 エンジン型式.....2サイクル5ポート
 冷却方式.....強制空冷
 シリンダー数・配列.....2気筒・並列

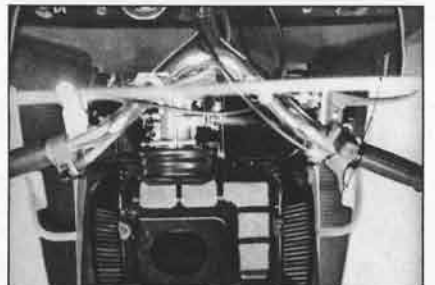
総排気量.....338cc
 最高出力.....20ps/5,000rpm
 始動方式.....リコイル式ハンドスターター
 ※セルスターター取付可能
 燃料タンク容量.....16.0ℓ
 変速機型式.....Vベルト式自動変速機
 ブレーキ方式.....ディスクブレーキ
 トラック巾・数.....460mm—Single
 前照灯、尾灯、ストップランプ、方向指示器(前)つき。



新登場の6機種は、スターター付キャブレターの採用で始動性も一段と向上。



S300DX、GP292B、GP433Bはサブマフラーを新装備。排気音はグッとおさえられている。



新設計の吸気サイレンサーで銀世界を静かに楽しむ静音対策も万全。ニューモデル全機種。



S300DX、S350DX、S440には、新たに二系統式ブレーキが装備された。従来のディスクブレーキに、もうひとつのドラムブレーキで制動力も抜群。



一段と豪華になった運転席。ハンドル右の四角いボタンは全車到新装備のキルスイッチ。

'73 ヤマハスノーモバイル

＊ COLOR ＊ ラインアップ。

NEW MODEL

ヤマハスノーモバイル S 300 DX (運輸省認定車)

● 銀世界の『楽しさと安全』を追求したニュースポーツ

- * 単気筒・292 cc
- * 20馬力/5500
- * 二系統式ブレーキ
- * 可倒式バックミラー
- * キルスイッチ

NEW MODEL

ヤマハスノーモバイル S 350 DX (運輸省認定車)

● ビジネスに、スポーツレジャーに力強い雪の足

- * 2気筒・338 cc
- * 25馬力/5500
- * ツウーヘッドライト
- * 二系統式ブレーキ
- * キルスイッチ
- * 前後独立ウインカー
- * 大型燃料タンク



期待のレンタルモデル、働くけん引用モデルも加わって全8機種。
 '73 ヤマハスノーモバイル 採用に、スポーツに、レジャーに、
 雪国には欠かせぬパートナーとして、
 今シーズンも大きな注目をあつめて躍進します。

NEW MODEL

ヤマハスノーモビル S300R

● 乗りやすさと走りに徹したスノーモビルランドの主役

- * 単気筒・292cc
- * 20PS/5,500rpm
- * 高剛性フレーム
- * 山高トラック



NEW MODEL

(運輸省認定車)

ヤマハスノーモビル S440

● 頼もしい高出力、強力なけん引が身上の働き者

- * 2気筒・433cc
- * 高剛性フレーム
- * 前面エアインテーク
- * 28PS/5,500rpm
- * けん引強化フック
- * エLEMENT付吸気サイレンサー



NEW MODEL

ヤマハスノーモビル GP292B

●身軽な雪のスプリンター

- *単気筒・292cc
- *27PS/6,000rpm
- *キットパーツ使用で30馬力以上も可能



NEW MODEL

ヤマハスノーモビル GP433B

●スノースポーツの覇者

- *2気筒・433cc
- *38PS/6,000rpm
- *キットパーツ使用で50馬力以上も可能



(運輸省認定車)

ヤマハスノーモビル S350C

- 実績も十分な雪のくらしのパートナー
- *2気筒・338cc *20PS/5,000rpm



(運輸省認定車)

ヤマハスノーモビル S300B

- 2シーズン目を迎えたファミリーモデル
- *単気筒・292cc *18PS/6,000rpm

YAMAHA TRAIL HT90

89cc 10PS/8,000rpm 0.95
kg-m/7,000rpm 5速リター
ン プライマリーキック 87kg



▲ブランディーレッド

▼キャンディイエロー



YAMAHA TRAIL AT125

123cc 13PS/7,000rpm 1.38
kg-m/6,000rpm 5速リター
ン プライマリーキック 94kg



▲ゴールドダスト

▼マリンブルー



ニュー・カラー

ヤマハトレール

HT90

乗りやすさを決定づけたトルク
インダクション方式のヤマハトレ
ールに9月15日から、ニュー・カ
ラーが加わりました。

ニュー・カラーとは——

HT90がブランディーレッドとキ
ャンディイエローの2色。

AT125はゴールドダストとマリ
ンブルーの2色。

それぞれの白フチ取りのブラック
ライン入りでいっそう格調高いも
のに仕上げられています。

どうぞよろしく。

(型式・仕様諸元・価格については従来と変わり
ありません)

ヤマハトレール

AT125

こんにちは……
ヤマハ
……です



福島県伊達郡川俣町 川俣モーターズ

福島県伊達郡川俣町

ここは福島市から太平洋岸・波江に至る美しい山合の町。阿武隈川沿いに、うねうねとカーブするアスファルトの一本道を市内から小一時間。途上には「御車所」なんぞという優雅な名前のバス停や、ひっそりと佇まう地像サマがみえ、歴史の匂いがかよってくる。

川俣町は羽二重で生まれ、羽二重で育ったという養蚕の町、今回の「こんにちは」はこの川俣町の川俣モーターズさんを訪れた。

「川俣モーターズ」の鹿野二郎社長は、川俣町で生まれ、戦後この町に戻ってきた。二十才で満州に渡り満州航空機に勤務。それから北京に行き中華航空に三年間在籍した。第二次大戦中は南方航空輸送部に配属され、シンガポールで終戦を迎えた。

復員後は、この川俣町でミシン商会を始め、昭和三十年、オートバイ店を設立。波瀾にみちた半生を乗りこえて、いまは町内でもかなりの規模を持つ店舗をかまえ、大陸的なダイナミックな人柄で知られている。

★増加している購売力★

川俣町は人口三万。山合にこつ然と現れるこの町を中心に、養蚕、タバコの衛星村が散在している。「川俣モーターズ」の大切なお客さんは、町内の人はもちろん、こうした衛星村の人びとだ。

この町も例に洩れず、ドル・ショックで大打撃を受けた。農家は減反政策で不況、それに若者の流出で過疎化は深刻である。

とはいえ、オートバイ店は商売繁盛である。過疎化が進んでも、核家族化で戸数は漸増している。商売用に、レジャー用に、戸別の購売力は増えているというわけである。それに農村の人びとは出稼ぎに出かけ、バッチリ稼いだ金を地元で落してくれる。この機に、いっちょオートバイを、というありがたいお客さまは結構いてくれる。



鹿野社長の右腕として働く長男・佳機さん



整備に余念のない、従業員の菅野クン(左)

エネルギーシユな大陸育ち・川俣モーターズ
鹿野二郎社長



さらに、幸か不幸か国鉄の川俣線が赤字路線で廃止になった。市内へ通う通勤客は自家用車が欲しくなる。駐車場難の折から、オートバイが人気の的になる、という寸法である。地方都市周辺の町まちや村むらは、多分みな同じような状況にあるだろう。オートバイに関しては、今後一〇%ずつの伸びが確実に期待できる、というのが、鹿野社長さんの希望にあふれた展望である。

★使いにくい四輪から二輪へ

「わたしらの町は完全に福島市のベッドタウンですよ。こういう町は全国いたるところにあるわけですよ。だからオートバイはまだまだイケますよ」

「しかしね、オートバイは雨や雪や風に弱い。」

だから全天候用のオートバイを是非とも開発してもらいたい。航空機時代にね、やっぱり全天候用の飛行機ちゅうものを考えていたですよ。とにかく早く開発してもらいたいですなア」

「それからお客さんはね、目新しいものにとっても目をとられるんですなア。ですから新機種をどしどし開発してもらいたい」

タバコをくゆらせながらバンバンとこうおっしゃる社長さんの分析によると、現在のところ、オートバイの気は、商店主は五〇ccの小型を中心に、通勤客が五〇〜九〇cc、そしてレジャー用にあるいは軽自動車代りにという利用者が九〇cc以上の大型を求めている。若者の関心は二五〇〜七五〇で、だんぜん大型化している。

戸数あたりで見ると、オートバイの普及率は二軒に一台の割。ただし、お父さんと息子の乗るオートバイは違うという具合に、一軒の家でも世代別に利用車が異ってきているところから、オートバイは確実に期待が持てるというわけだ。

それにご承知の通り、四輪車はなかなか使いにくい時代になってきている。東京の銀座には、「通勤に乗るな使うな自家用車」などという標語がかかげられている時代になったのだ。二輪車にUターン、という現象は、必要にせまられた確かな動きなのである。

★需要は自から創りだそう

こんにちは……
ヤマハ です



川俣町のメインストリート・川俣銀座



ハリキリー一家・川俣モータースのみなさん！

「当初はみんな自転車屋がオートバイをやっていたんですよ。しかしわたしはオートバイ専門店ということで売ろうと思いましたが、専門店化をはかりました」

ところが近頃この考え方もUターンです。オートバイを売ってただけじゃダメだという考え方になりましたよ。まあ、ある程度売ってしまったら、あとは頭打ちですからね。新しい購層を自分でつくらなくちゃならない。いま自転車を使っている、たとえば小・中学生が、いずれオートバイの購層に成長するということを考えなけりゃいかん、こういうことですな。

そこで目下、自転車用の新店舗を建設中。自転車から普通車まで、いや、うばぐるまから高級車まで、そのくらい人間の成長過程を全部カバーする商売をしていくのだと社長さんの鼻息はサマジクも頼もしいのである。

★適正利潤で健全経営がモットー

サテ、オートバイ店を経営するにあたって必須の要件というのは何でしょうか、と伺ってみましたところ、社長さんの体験に培われた回答は次の通りである。

- ① 資金力
 - ② 商店の敷地の広さ
 - ③ 部品を多く持つこと
 - ④ 親切心
- 以上の四つである、という。①ほどの商売

にも必要不可欠のものが②はオートバイ店にとって断固必要であると、社長さんは力説された。つまり、敷地の広さは在庫力を示すものであり、品数の豊富な店舗に客は集ってくるからである。あそこへ行けば何でも揃っている——この信用が商売を支えるのだ、と社長さんはいう。

ちなみに鹿野社長の座右銘は「商人にとって店舗は畑である」という言葉。熱意と誠意と研究心で収穫を確保するのだが、まずは畑が大きくなけりゃ、というわけである。

それに「儲からない商売はしない」というのも座右銘の一つ。あとで万全のサービスができるために、これは商売の鉄則です、とおっしゃった。

川俣モータースが店舗をかまえる川俣銀座に、もう灯がともっていた。冷いお茶をごちそうになりながら、本当はもつと話をつづけたかった。仕事抜きで、このお父さん（イヤ失礼！）と対話をしたかったのである。

虫の鳴き声が響く夕暮の街道を帰途につくと、三三五五、市内から帰る四輪車や二輪車とすれちがった。

「阿武隈川も、いまは泡川で……」と社長さんが苦にがしくおっしゃった川面に、遠い市内の灯が美しく影をおとすのを眺めながら、とつぷりと夕闇に包まれた市内に、私は帰ってきた。

東北で初のロードレース ふりしきる雨の中、ヤマハ勢が大活躍



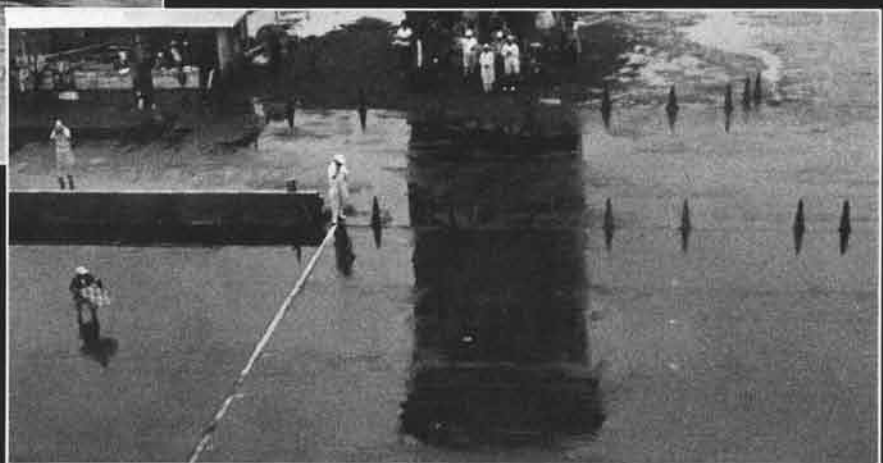
雨になやまされながらも、圧倒的なつよきで2
ヒートともダントツで優勝した本郷明彦選手



「むつ湾インターナショナルスピードウェイ」は全長4.5kmのオーバルコース高速型だ

▲二輪のレースとしては日本で初の賞金がかげられたものとして人気は高かった

コントロールタワーをコースにうつして雨の▶中の栄光のゴール



ロードレースといえば、これまで鈴鹿か富士、あるいは筑波の三ヶ所に限られていたものだが、みちのく東北にもサーキットが新設され、このほど初のオートバイレースがひらかれた。

新しいサーキットは「むつ湾インターナショナルスピードウェイ」といい、青森県むつ湾に近く国道279号線沿いに海岸に寄ってつくられたもの。コース全長は四・五キロでオーバル型の高速向きである。

『第一回むつ湾オートバイグランプリ』と銘打ってひらかれたこのレースは、MCF AJの72ロードレース日本選手権シリーズ第三戦としてプロデュースされたものだが、当日は相にくの雨天で、コース・コンディションは最悪の状態であった。

しかし、レースは予定どおり三クラス（セミエキスパート、ジュニア、ノービス90cc、125ccクラス、同250cc、350cc、500ccクラス、プロフェッショナル、セミエキスパート、ジュニアによるグランプリ）が行なわれ、ヤマハはジュニア125ccクラスを除く全クラスの優勝を独占した。

今回のレースでとくに注目されたのは、第三レースのグランプリで、二輪のレースとしては初めてのプライズマネー30万円をかけて25周2ヒート制で行なわれたが、TR3で出場した本橋明泰選手（ワールドワイドMC）は750cc、500ccレーサーを相手に抜群のつよさを発揮、ふりしきる雨の中を三位以下をすべてラップし、2ヒートとも1位で30万円の賞金と優勝を獲得したのであった。

なお、アマチュアライダーとしてプロフェッショナルに挑戦した輝井嶂選手（ワールドワイドMC）が総合三位で優勝、マカオGPレース派遣の榮譽をかちとつた。

重宝していただきます “メイト&三輪車”

これは飛騨高山のある販売店さんの協力で作られたメイトの三輪車です。足の不自由なお客さまの要請にこたえるべく、すべて手で操作できる仕組みとなっています。なにかの参考になればと思います。紹介した次第です。

(岐阜・高山出張所のみずなみ)

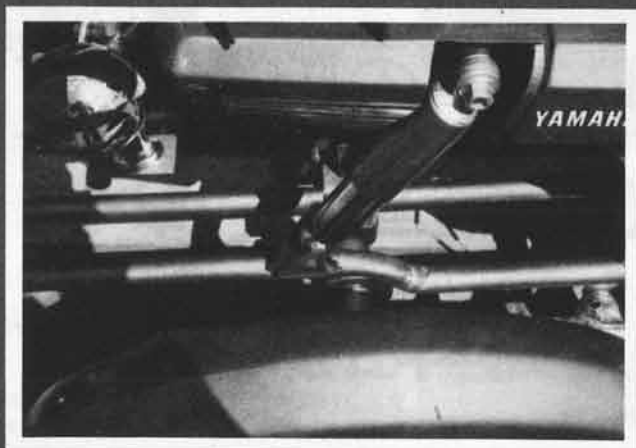
▲フットレストはバーに変わってボードを装着。

▼ギヤ・チェンジはレバーによる手動式。

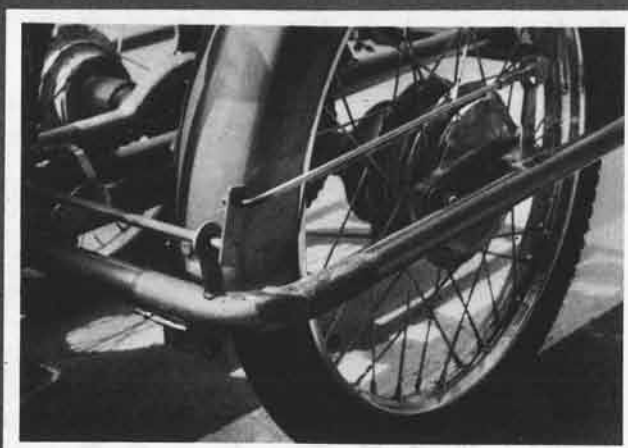


▲足の不自由な身障者のよき足をとめるメイト&三輪車。車体関係はリヤのスイングアーム部に改造が施されている以外はバックレストがついているくらいで大きな変更はない。

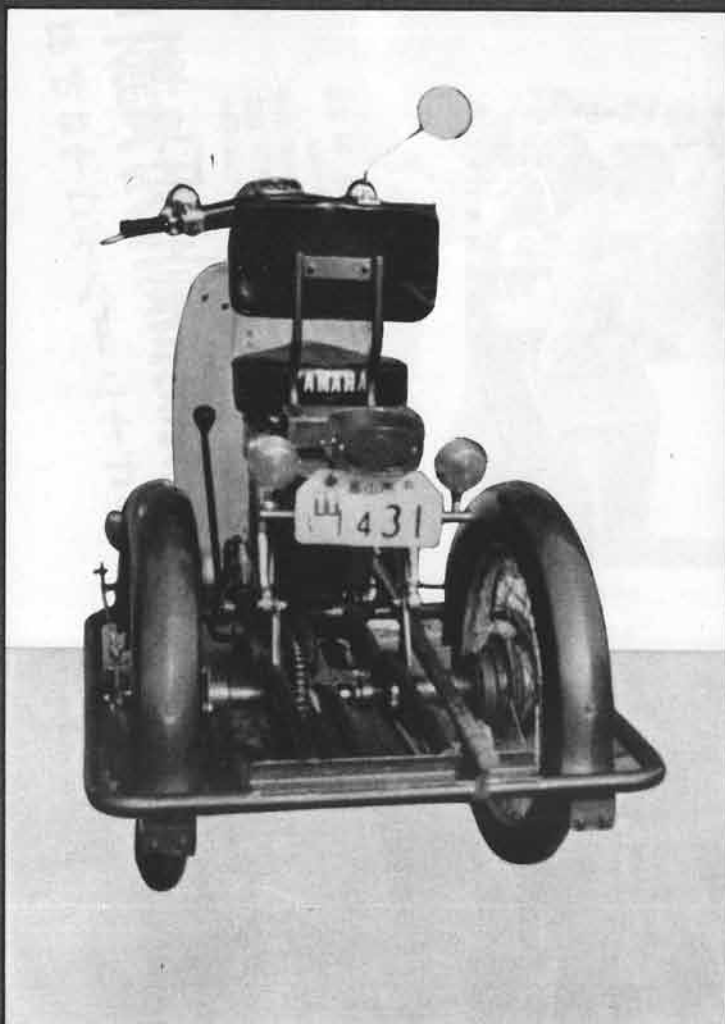




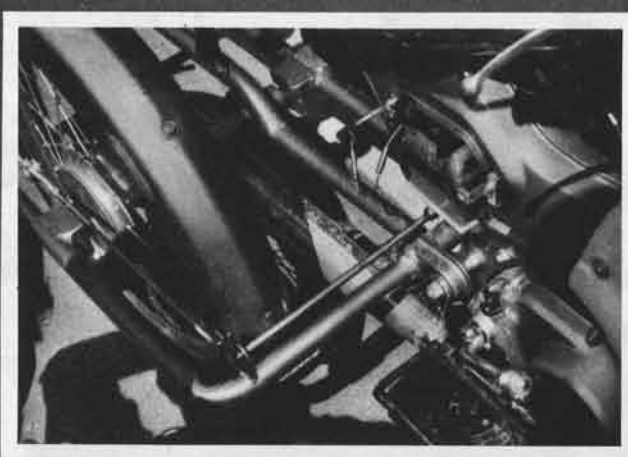
リヤ・クッションはメイトの標準のものがそのまま使われ、下側の支持はスイングアームの支持をきりとって溶接づけされている。



後2輪のブレーキは、左手動のレバーにより操作され、ワイヤーからリンクを介してロッド伝達で作動される。



車巾はほぼハンドル巾でおさめられている。後2輪支持のリヤ・フレームはパイプを方形に組み、中央の3本のパイプは、左右2本がリヤ・アクスルの支持で、中央の1本はリヤスプロケットのシャフトをうけている。またここで左右のアクスルが分離している。



後輪ブレーキ作動のリンクシャフトは車体の左にも出て、後2輪をブレーキする。



後輪の駆動は左車輪のみ。したがってデフは必要としない。

日本一の腕を競う！

二輪車安全 運転競技会

二輪車安全運転競技会第五回全国大会が八月二十七日、警視庁府中運転免許試験場で開かれました。

全日本交通安全協会・二輪車安全運転推進委員会の主催のもとで行われている恒例の行事です。

ことしは、はじめて女性部門が設けられ、緊張した空気もややなごんだよう。

地方予選を勝ちぬき、あるいは選ばれたる七十七人の選手が、スラロームに、一本橋走行に、あるいは斜面での回転にと、安全運転の腕を競い、四クラスのチャンピオンが決まりました。

なお団体総合優勝旗を、はじめて東京が手にしました。

昭和四十七年八月二十七日(日)

二輪車安全運転競技会第五回全国大会

主催 全日本交通安全協会
 協賛 日本小型自動車振興会・二輪車安全運転推進委員会
 後援 警視庁交通安全部
 指導 警察庁交通局
 協賛 日本自動車工業会・二輪車安全運転普及協議会
 協賛 日本自動車整備振興会連合会・日本全国軽自動車協会連合会
 協賛 日本モーターサイクル協会
 協賛 日本小型自動車販売協会



安全運転競技会は運転技術のみを競うものではない。交通法規をいかに正しく理解しているか、筆記試験もある。



試験官の注意説明があつて、いよいよ美技の開始。

日頃のウデの見せどころ、スラローム。▶

慎重派の女性も大活躍。おちついた運転さばきで好成績をおさめた。



◆お相手するのは誰でしょう◆



この見なれないファンタジックな乗物は、オーストラリアのヤマハ代理店が宣伝用に製作したもので、その名は『シンディ・ベビー』といい、エンジンにはRT360用のものが使われています。

シンディとは、シンデレラのことです。おとぎの国からやってきたようなこの可愛らしい乗物にはまさにぴったりの名前です。

この『シンディ・ベビー』は、メルボルンやニュージールランドで行なわれたモーターショーに出品され、とくに子供たちの間で圧倒的な人気を博しました。

「こいつは便利だ。さあ、張り切るぞ」ヤマハミニにまたがって大喜びのオリンピック役員や軍隊の人たち。▼

オリンピックの旗がひるがえるミュンヘン市の入口。▶



ミュンヘンオリンピックで活躍した 可愛いバイク「ヤマハミニ」

ミュンヘンオリンピックは、多くの新記録やアラブゲリラの暴挙など、悲喜こもごもの話題を残しましたが、その舞台うらで、連絡用などに活躍した五十台のヤマハミニFT50の活躍が印象的でした。

さきのサッポロオリンピックでは、会場内の連絡用にヤマハスノーモビルが使用されましたが、ミュンヘンオリンピックの組織委員



納入を待つ五十台のヤマハミニ。お店の入口に立つのがフィッシュベックさん。

会では、五十台のヤマハミニの採用を決定、同市のヤマハディーラー、フィッシュベック社 (FISCH BECK) をつうじて八月十九日に納入されたものです。

役員や軍隊の人びとを乗せて、競技場から競技場へ、そして選手村へと、いそがしく走りまわる可愛い車・ヤマハミニが、各国選手の間でも話題になりました。

TR3とミス・ヤマハ



世界中で行われるレースで常に好成績を納め、人々の注目を集めているヤマハTR3と一緒にいるのは、オーストラリアはメルボルンに住むビビアン・ボツチェリルさんです。いかにもスピード感あふれる華麗なスタイルのTR3に劣らず、彼女のプロポーション

もなかなかのもので。それもそのはずで、前号でも紹介した通り大のヤマハファンの彼女はミスヤマハとして活躍していますが、72年度のミス・オーストラリアの最有力の候補者でもあるのです。ブーツとヘルメットがとても良く似合い、さすがはミス・ヤマハです。

XS650を真中に記念撮影のスタッフ。



堂々のヤマハオンパレード。



独立記念式典で ヤマハオンパレード

この八月十七日に独立二十七周年を迎えたインドネシアでは、政府の主催による記念式典や各種の行事が盛大に行われましたが、その中で人々の注目を一番集めたのは、現地の子ヤマハ総代理店であるハラパンモーターによるヤマハのオートバイパレードでした。

昨年からの現地生産が開始されて以来、急速にインドネシアの人々の生活に溶け込み、生

活必需品として多方面で活躍しているヤマハのオンパレードです。XS650を先頭にAX125やL2G、メイトなど当地で組立てられているすべてのヤマハと、美しくデザインされたユニフォームに身を固めたライダー達とのコンビネーションに、大統領以下高官や特別招待客達も盛んな拍手を送っていました。

スポーツ性も抜群です!

乗りやすさと取扱いやすさがうりものヤマハメイトも、レーシング用にコンパクトされると素晴らしいスポーツ性も発揮します。

写真のメイトは、ラテンアメリカ、ドミニカ共和国で最近行われた短距離のスピードレースで優勝した改造型メイト五〇cc。

ドミニカの代理店モトランバル社がエントリしたのですが、ライダーはL・フランコ。ヤマハマシンは、一〇〇cc、一二五cc級にも出場、一〇〇ccクラスが両クラスとも首位になりました。



お客さまに安全
の知識を……………

“交通指導ボード”

***お店に1セットお備えください！**

車の模型や道路標識がピタッと張りつく交通ルール指導用ボード。交差点の通行の仕方や通行区分、追越しのルールなど、おぼえにくい問題もスラスラ理解できます。

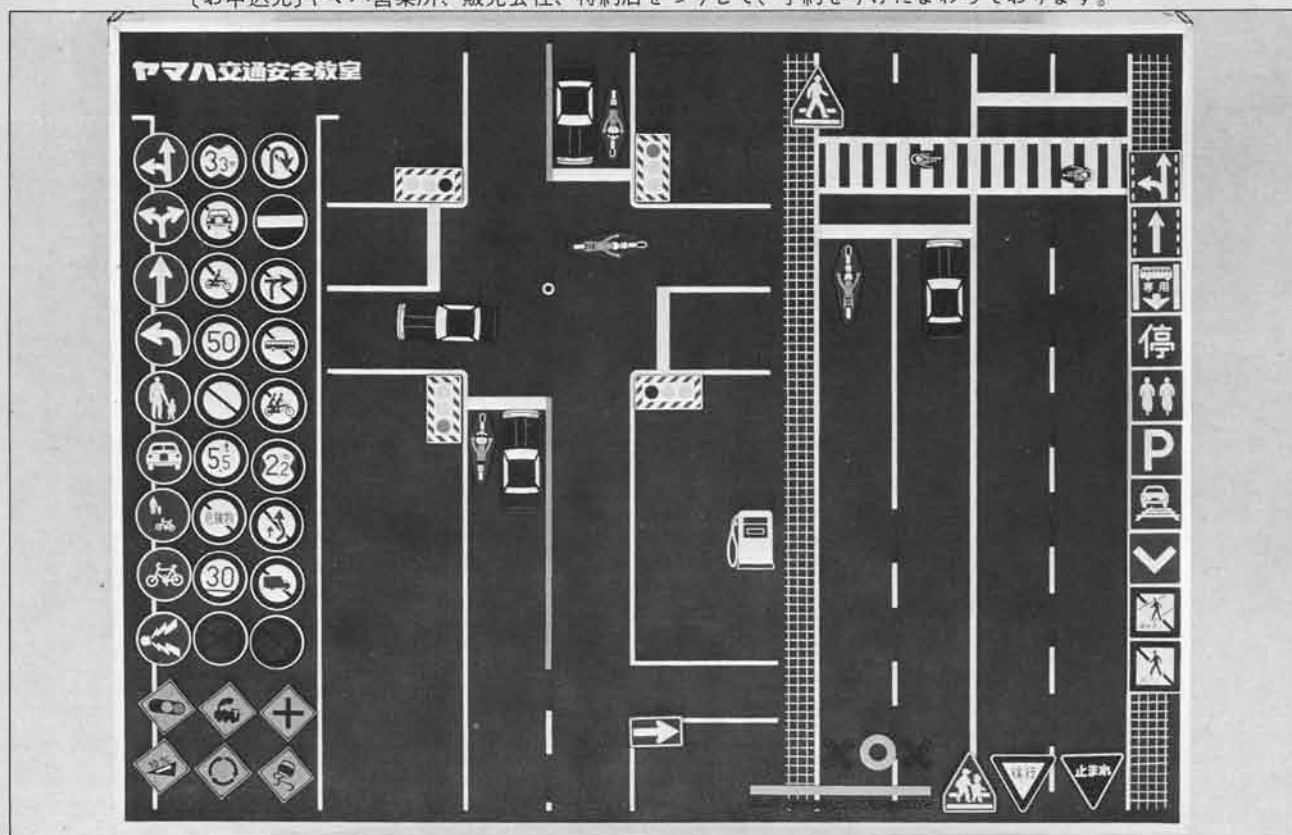
◆どこでも免許教室が開けます

運転免許を取りたいというお客さまが1人でも2人でもあったら……この指導ボードを掲げてください。いつでも、どこでも免許教室に早変わり。ヤマハ運転免許教室テキストを片手に、あなたが先生になって、親切に教えてあげられます。

◆お客さまの安全再教育に

すでに免許を持っているお客さまの安全再教育にも、この交通指導用ボードをご活用ください。交通ルールが改正になったときなど、とくに役立ちます。

[付属品]・車や歩行者の模型・道路標識・信号・補助ライン・矢印 [頒 価]30,000円
[お申込先]ヤマハ営業所、販売会社、特約店をつうじて、予約をうけたまわっております。



ボードの大きさは120×90cmでスチール製。いろいろな道路の図がプリントされています。うら面はふつうの黒板として使えます。



チョークで、写真のように要点を記すことができます。道路標識や車や、青、赤、黄、白のラインは磁石式なので、移動や取外しが簡単です。



標識類その他のサインは、専用の収納箱におさまるようになっていきます。この収納箱は木製で、大きさは23.8×32.7×8.1cmです。



この交通指導ボードがあれば、お客さまとの間に、交通安全に関する話題が生まれます。信頼されるお店づくりに役立たせてください。

《安全運転を守り、高性能を保証する》

ヤマハ純正オイル

— お店のすべてのお客さまにおすすめください —

新発売!



快適な走行を約束する
**ヤマハ
オートルーフ
スーパーオイル**

1ℓ = ¥450
18ℓ = ¥7,000
(いずれも小売価格)

●信頼性いちばんで売られているヤマハ純正オイル ●勝負の決め手は高品質のヤマハレーサーオイル



ヤマハオートルーフオイル
1ℓ = ¥350 18ℓ = ¥5,100



ヤマハギヤオイル
1ℓ = ¥350 18ℓ = ¥5,100



ヤマハ4サイクルオイル
1ℓ = ¥350



ヤマハレーサーオイル
(植物性) 1ℓ = ¥1,100



ヤマハレーサーオイル
(鋳物性) 1ℓ = ¥1,000